

KENWOOD

スピーカーシステム

KS-203HT

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用前に

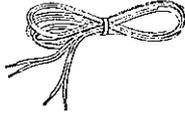
包装ケースはぜひ保管されて、修理サービスや移転などのとき、スピーカーシステムを保護するためにご利用ください。

付属品

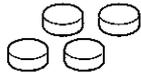
次の部品がそろっていることを確認してください。

●スピーカーコード

- 赤/黒 4.5m : 2本
- 青/黒 4.5m : 2本
- 橙/黒 6m : 1本
- 灰/黒 6m : 1本
- 緑/黒 3m : 1本



●クッション (4個)



使用上のご注意

- このスピーカーシステムの定格インピーダンスは8Ωです。ご使用になるアンプの規格を調べて、8Ωの負荷インピーダンスが使用できることを確認してください。
- このスピーカーシステムの最大入力、瞬間最大入力は「定格」に記載されています。過大な入力をスピーカーに加えると、音質をそこねたり、故障の原因となることがありますので、次のことに十分ご注意ください。
 - スピーカーシステムの最大入力以下の出力のアンプを、ご使用になるときでもボリュームをあげ過ぎると、アンプの出力が歪み過大入力となります。ボリュームをあげ過ぎないでください。
 - アンプのトーンコントロール (BASS、TREBLE) やラウドネスコントロールなどで、低音域や高音域のレベルを大幅にあげた状態で、ボリュームをあげ過ぎないでください。
 - FM放送の局間ノイズや、テープの早送りなどの特殊な信号 (高調波成分を含んだ信号等) を、連続して加えないでください。
 - アンプのスイッチを切り換えるときや、レコード盤に針をおろすときは、アンプのボリュームを最小にしてください。

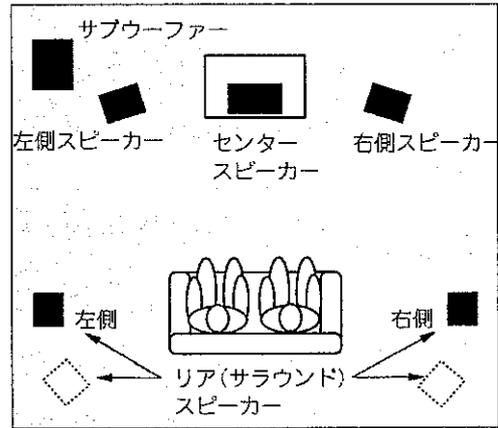
設置のしかた

付属のクッションについて

付属のクッションをサブウーファースの底面4ヶ所に貼り付けてください。サブウーファースの滑り防止と、振動を設置面に伝えにくくする効果があります。

よりよいサラウンド再生のために

このスピーカーシステムで、フルサラウンド再生が楽しめます。以下のように設置してください。



- 左右のスピーカーを、テレビをはさんで左右対称に置きます。お聴きになる位置に向けて傾けていただくと効果的です。
- センタースピーカーを、テレビの上、または下に置きます。スピーカー部とお聴きになる位置が向かい合うようにしてください。
- リア (サラウンド) スピーカーを、お聴きになる位置の真横が少し後ろの、できるだけ高い位置に置きます。お聴きになる位置に向けて傾けていただくと効果的です。
- サブウーファースを壁のそばに置きます。低音を楽しむためには、部屋の角に置きますと、特に効果的です。

テレビの近くで使用するには

(フロントおよびセンタースピーカー)

このスピーカーシステムをテレビの近くで使用すると、設置のしかたによっては、色むらが発生する場合があります。テレビの自己消磁機能を働かせることにより、色むらを低減させることができますので、次の方法で設置してください。

- ① フロントスピーカーとセンタースピーカーを最初に接続します (サブウーファースはまだ接続しないでください)。テレビの主電源をONにしてみ、色むらがあるようでしたらテレビの主電源を15~30分以上OFFにしてください。テレビの主電源をONにし、もしそれでも色むらが発生する場合は、スピーカーをテレビから離して設置してください。
 - ② サブウーファースを接続してください。色むらがあるようでしたらテレビの主電源を15~30分以上OFFにしてください。テレビの主電源をONにし、もしそれでも色むらが発生する場合は、サブウーファースをテレビから離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
 - テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビとスピーカーを離して設置してください。

設置のしかた

床または棚に置いて使う

床や棚、またはその他の平らなところに置いてください。固定されませんので、倒したりしないように注意してください。

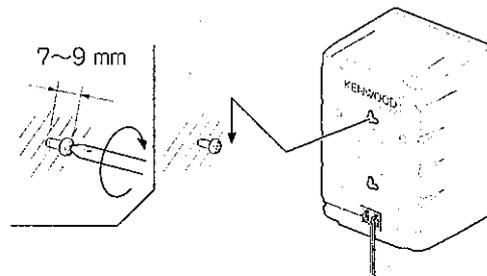
壁に掛けて使う(サブウーファーは除きます)

フロント、センター、リア(サラウンド)スピーカーには、壁掛け用の穴があります。たて、横、どちらの向きでも壁に掛けることができます。

たて掛けの場合は、上部の穴を使い、ねじ1本のみで固定します。横掛けの場合は、正しい距離をあけて、ねじ2本を使い固定します。以下の手順をお読みください。

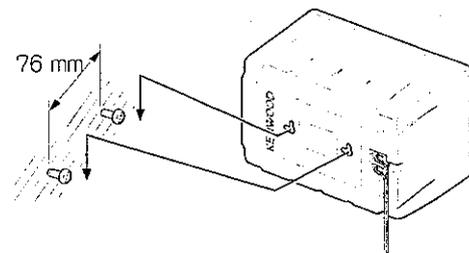
たてに掛ける場合

1. お好みの場所にねじを取り付けます。このときねじの頭と壁の間は7~9 mm 空けてください。
2. スピーカー上部の穴を、ねじに差し込みます。きちんと固定されているか確認してください。



横に掛ける場合

1. お好みの場所に、2本のねじを76mm 空けて取り付けます。2本のねじが水平になるようにしてください。このときねじの頭と壁の間は7~9 mm 空けてください。
2. スピーカーの2つの穴を、ねじに差し込みます。きちんと固定されているか確認してください。



設置上のご注意

壁に取り付ける場合、次の事項を確認してから取り付けてください。

- 取り付ける壁等は、このスピーカーの重さ(0.9 kg)に耐えられる材質、構造の壁に取り付けてください。
- 壁掛け用ねじは付属していません。取り付ける壁等の材質、構造により、取り付け強度が十分にとれる長さの市販のねじを使用してください。
- 取り付ける壁等が、このスピーカーの重さに耐えられるかわからない場合や、不明な点がある場合は、必ず専門の取り付け業者、施工業者にご相談ください。

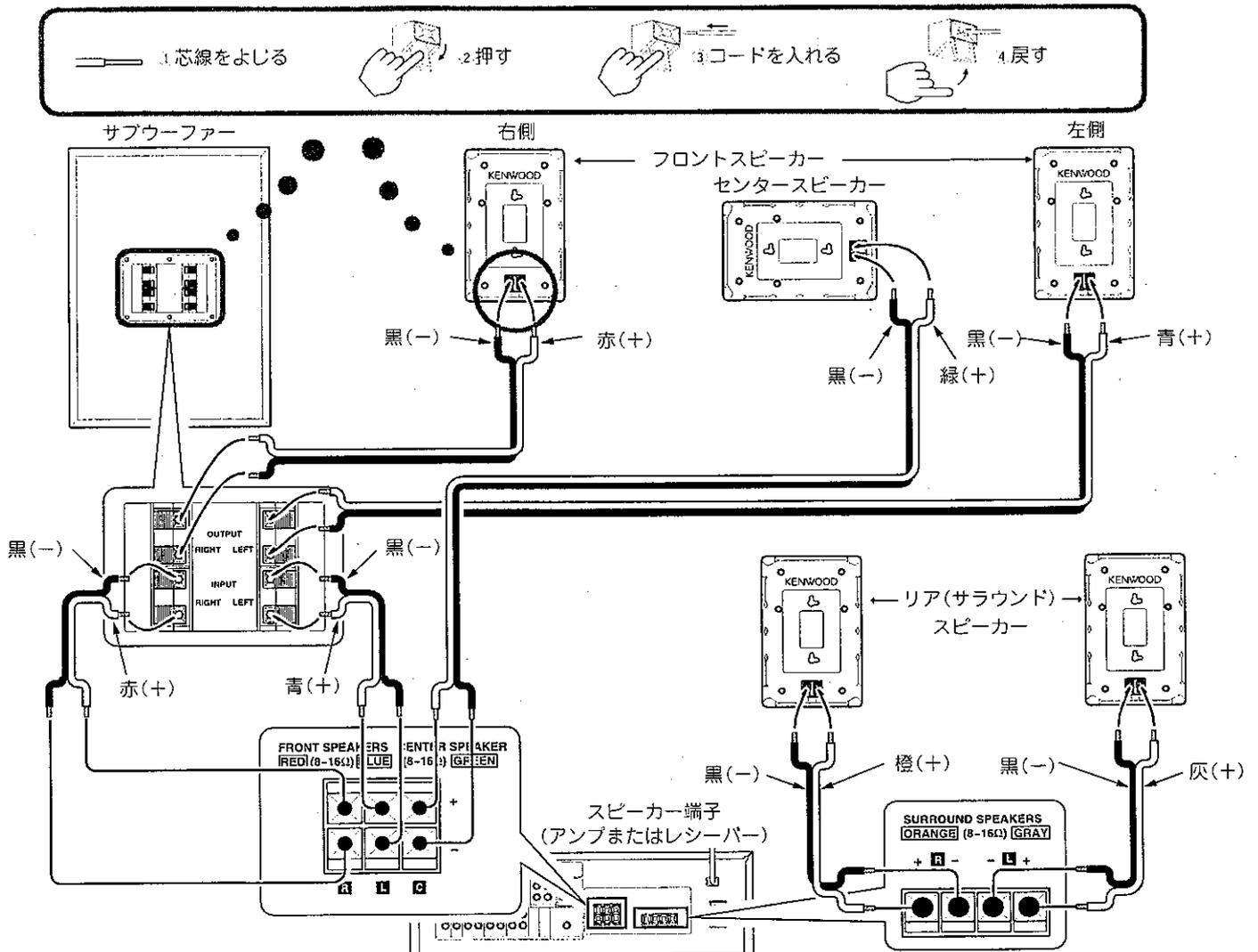
取り付け、取り扱いに関しては、この説明書に従ってください。取り付け不備、取り付け強度不足による落下等による、事故、損害に対しては当社はいっさい責任を問いませんので、あらかじめご了承ください。

接続のしかた

⚠ 注意

スピーカーを接続するときは、必ずアンプなどのオーディオ本体の電源コードをコンセントから抜いて、接続を行ってください。

フロントスピーカー、リア（サラウンド）スピーカーは、左右の指定があります。スピーカーコードと背面の端子には、色がついています。色が合うように注意しながら、図のように接続してください。



このスピーカーシステムは、セットで使うように設計されています。フロントスピーカーは、必ずサブウーファーを経由して接続してください。他のサブウーファーやフロントスピーカーとの接続は、故障の原因となります。



- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- 端子とスピーカーコードの極性(+)、(-)をまちがえて接続すると、音像が定まらず、低音域の量感も得られません。端子とコードの極性に注意して接続してください。

知っておきましょう

メンテナンス

セットのお手入れ

キャビネットなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

定格

	フロント	サブウーファー	センタースピーカー	リアスピーカー
システム	1ウェイ (防磁型)	1ウェイ	1ウェイ (防磁型)	1ウェイ
エンクロージャー	密閉式	バスレフ式	密閉式	密閉式
スピーカーユニット	100 mm コーン型 (フルレンジ)	200 mm コーン型	100 mm コーン型 (フルレンジ)	100 mm コーン型 (フルレンジ)
定格インピーダンス	8 Ω(*)		8 Ω	8 Ω
瞬間最大入力	-		50 W	50 W
最大入力	50 W(*)		20 W	20 W
出力音圧レベル	85 dB / W at 1 m(*)		85 dB / W at 1 m	85 dB / W at 1 m
再生周波数特性	40 Hz~20,000 Hz(*)		100 Hz~20,000 Hz	100 Hz~20,000 Hz
外形寸法	幅	129 mm	300 mm	129 mm
	高さ	198 mm	420 mm	198 mm
	奥行	120 mm	374 mm	120 mm
正味質量	0.9 kg (1台)	8.4 kg	0.9 kg	0.8 kg (1台)

* フロントスピーカーとサブウーファー駆動時の値です。

ご注意：すべてのスピーカーのサラネットは取り外せません。



これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

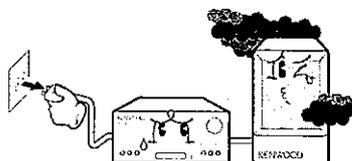
この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

⚠ 警告

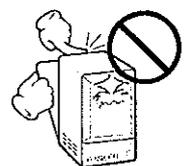
異常が起きた場合は

 煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐにオーディオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



ケースを絶対に開けないでください

 スピーカーの裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



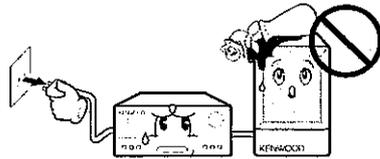
警告

機器の内部に水や異物を入れない

 スピーカーの上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 スピーカーの通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

 内部に水や異物などが入った場合は、まずオーディオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない

 風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ビニール袋に注意

 ビニール袋は子供や幼児の手の届かない所にかたづけ、かぶって遊んだりしないようご注意ください。窒息の危険があります。



注意

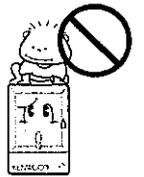
不安定な場所には置かない

 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



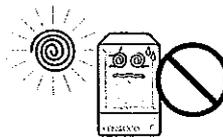
機器に乗らない

 このスピーカーに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



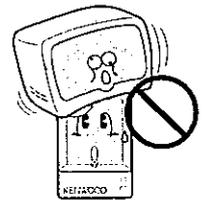
温度の高い場所には置かない

 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



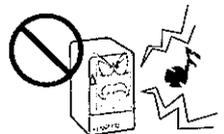
指定機器以外の物を乗せない

 このスピーカーの上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



異常な音を出し続けない

 スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書 (別途添付)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通省産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み (有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06) 6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。